社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和08年03月26日

計画の名称	賑わい・活力・潤いにあふれる、豊かで住みよいまちの形成
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度　(5年間)　　重点配分対象の該当
交付対象	半田市,愛知県
計画の目標	本市は、蔵が建ち並ぶ半田運河周辺地区、明治時代にビール工場として建造された半田赤レンガ建物といった歴史や文化的価値のある観光資源が多く存在している。これまで本地区では、これらの歴史的資源の保全・活用をするため、景観に配慮した都市基盤の整備や赤レンガ建物等施設の整備を行ってきた。 こうした取り組みを活かし、まちの賑わい創出を図るためには、さらなる都市基盤整備による観光資源の活用等が必要不可欠である。 そこで、本計画では、公園整備や乙川中部地区の道路整備、半田運河の景観整備を実施するとともに、本市の玄関口であるJR半田駅周辺の中心市街地において、連続立体交差事業とあわせて一体的な市街地形成を図ることにより、数ある観光資源に多くの観光客が訪れるまちを目指すものである。

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	3,497	A	3,380	B	103	C	0	D	14	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2		R6
1	半田運河周辺観光入込客数を414,505人（R1）から428,380人（R6）へ増加させる。			
	半田運河周辺観光入込客数を調査する。	414505人	人	428380人
2	「良い景観が形成されている」ことに対する満足度を6.95Pt（R1）から7.29Pt（R6）へ上昇させる。			
	市民アンケートを行い、「良い景観が形成されている」の平均ポイントを調査する。	695Pt/100	Pt/100	729Pt/100
3	「公園・緑地がきちんと整備されている」ことに対する満足度を4.95Pt（R1）から4.99Pt（R6）へ上昇させる。			
	市民アンケートを行い、「公園・緑地がきちんと整備されている」の平均ポイントを調査する。	495Pt/100	Pt/100	499Pt/100
4	乙川中部土地区画整理事業区域内における居住者人口を2,727人（R1）から3,500人（R6）に増加させる。			
	乙川中部土地区画整理事業区域内の居住人口を住民基本台帳人口から抽出する。	2727人	人	3500人
5	半田運河・JR半田駅周辺の歩行者数を143人（R1）から210人（R6）に増加させる。			
	半田運河・JR半田駅周辺の歩行者数を調査する。	143人	人	210人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000733324

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R02	R03	R04	R05	R06	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	半田市	直接	半田市	－	－	半田歴史文化が香るまち地区(1-A1)	高質空間形成施設	半田市	■					17		－
		令和３年度より都市構造再編集中支援事業へ移行																	
											小計						17		
道路事業	A01-002	街路	一般	半田市	直接	半田市	区画	改築	半田乙川中部地区（（都）環状線）(1-A-2)	区画整理　A=47.5ha	半田市	■	■	■	■	■	2,472		－
											小計						2,472		
都市公園・緑地等事業	A12-003	公園	一般	半田市	直接	半田市	－	－	公園施設長寿命化対策支援事業（半田市）(1-A-3)	老朽化した公園施設等の改築　N=34公園	半田市	■					31		策定済
		令和3年度より新規計画（防災・安全交付金）の作成に伴い移行																	
											小計						31		
道路事業	A01-004	街路	一般	半田市	直接	半田市	区画	改築	JR半田駅前土地区画整理事業（（都）半田駅前線ほか3路線）（1-A-4）	道路　L=356m　駅前広場　A=2,420㎡	半田市	■	■	■	■	■	859	2.1	－

案件番号：　0000733324

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R02	R03	R04	R05	R06	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											小計						859		
都市公園・緑地等事業	A12-005	公園	一般	半田市	直接	半田市	－	－	半田運動公園施設長寿命化計画策定事業(1-A-5)	調査、計画	半田市	■					1		－
		令和3年度より新規計画（防災・安全交付金）の作成に伴い移行																	
											小計						1		
											合計						3,380		

案件番号： 0000733324

B 関連社会資本整備事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R02	R03	R04	R05	R06	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	B10-001	都市再生	一般	半田市	直接	半田市	－	－	高架側道整備事業（（都）武豊線東側道1号線ほか5路線）（1-B-1）	鉄道高架側道　L=2,150m	半田市	■					103		－
		半田歴史文化が香るまち地区都市再生整備計画事業（1-A-1)と併せて、高架側道を整備することにより、駅や観光施設等への回遊性の向上を図り、快適で利便性の高い都市づくりを推進する。																	
		令和３年度より都市構造再編集中支援事業へ移行																	
											小計						103		
											合計						103		

案件番号：　0000733324

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R02	R03	R04	R05	R06	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
円滑化地籍整備事業	D18-001	地籍整備	一般	愛知県	間接	半田市	－	－	地籍調査（荒古町地区）(1-D-1)	面積　0.06km2	半田市	■	■	■	■		7		－
		基幹事業（1-A-1）の都市再生整備計画事業に併せ、土地境界情報を整備しておくことで、円滑な都市開発の促進に貢献する。																	
	D18-002	地籍整備	一般	愛知県	間接	半田市	－	－	地籍調査（中村町地区）(1-D-2)	面積　0.07km2	半田市		■	■	■	■	7		－
		基幹事業（1-A-1）の都市再生整備計画事業に併せ、土地境界情報を整備しておくことで、円滑な都市開発の促進に貢献する。																	
											小計						14		
											合計						14		

案件番号：　0000733324

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本事業を主管する市街地整備課にて数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証するとともに、その要因を分析した。	令和8年3月
	公表の方法
	市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	半田運河において人道橋を整備したことにより、半田運河周辺の賑わい創出につなげることができた。土地区画整理事業においては、建物移転完了箇所の活用が進まず、居住人口の増加や景観形成の阻害となってしまった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

引き続き、土地区画整理事業等により道路や公園などの都市基盤の整備を進めることで周遊性の向上を図るとともに、景観整備も併せて実施することでより多くの観光客が訪れるまちを目指していく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	半田運河周辺観光入込客数		
	最　終 目標値	428380人	半田運河周辺の景観整備を行うとともに、定期的なイベントの開催を行ったため。
	最　終 実績値	502007人	
2	「良い景観が形成されている」の平均ポイント		
	最　終 目標値	729Pt/100	JR半田駅周辺において土地区画整理事業や高架側道整備事業が同時並行的に進む中で、工事による景観阻害要素があったため。
	最　終 実績値	431Pt/100	
3	「公園・緑地がきちんと整備されている」の平均ポイント		
	最　終 目標値	499Pt/100	老朽化した公園施設の改修は進んだものの、歩いて行けるような身近な公園の充足等のニーズが高かったため。
	最　終 実績値	249Pt/100	
4	乙川中部土地区画整理事業区域内の居住人口		
	最　終 目標値	3500人	事業区域内の土地について、住宅ではなく事業用地などの非住宅利用が多かったため。
	最　終 実績値	2865人	
5	半田運河・JR半田駅周辺の歩行者数		
	最　終 目標値	210人	半田運河において人道橋を整備したことで、周遊性を向上することができたため。
	最　終 実績値	227人	